

るやを明確に知り得るものがある。ブルジョアと其の政府の最も中心となるところは、今や際原の火の如く進展しつつある労働組合運動である。我々が多年血流と流し後多の犠牲を拂つて築き上げた労働組合の城塞は、團體行動の權利と労働階級の文化とは、該法案に依つて、一撃に壊滅せんとしつゝある。

吾國現下の状況の下に於ては、左党と在野党とを同化せ、普選の成否は彼等の政治的生命に關する重大事となるが故に、ブルジョア政党内悉く空虚なる普選を民衆に交へるべからず。而して一方に於て、斯る憲法に依つて我々が既得の權利を脅掠し新興労働階級の萌芽をニぎまにし、たゞ除せんとするものがある。

ブルジョア國家の下に何の秩序がある。兵隊がある。彼等の所謂秩序と云ふは、兵隊と稱するものは、ブルジョアに無限の榨取と觀衆を保証する事であり、労働階級を、奴隷と飢餓に陥し入れらるる事である。

ブルジョアの榨取と觀衆とを全たからしめん爲めに我々の城塞を

組合を破壊し既得の權利を脅掠し多数の同志を牢獄に繋ぎあつた無類の憲法、治本維持法案に對し労働階級は、絶對に反對し新憲法案を徹頭徹尾に駁す可く能はざらん。戦馬の足は